

学校施設における PFI事業の現状と今後の展望



平成22年4月19日

文部科学省



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

公立学校施設整備へのPFIの導入

- 耐震化推進の必要性（公立小中学校の耐震化率67.0%（平成21年4月1日現在））
- 老朽化への対応（第2次ベビーブーマー時代に建設した建築後30年以上の面積が約5割）
- 多様な学習形態への対応

限られた予算で着実な整備を効率的に実施

公立学校施設整備・運営へのPFI手法の導入

- ・公立学校の設置、管理は学校教育法などの規定により地方公共団体の教育委員会が行うこととされている。
- ・施設の設計や建設の他、維持管理については植栽・清掃・警備等、運営については給食業務等をPFI事業として実施することができる。



《これまでの文部科学省の取り組み》

■マニュアルの策定

- ・公立学校施設整備PFI事業のための手引書（平成15年4月）
- ・複合化公立学校施設PFI事業のための手引書（平成16年3月）
- ・公立学校耐震化PFIマニュアル（平成20年10月）

■地方公共団体等への普及啓発

文科省主催シンポジウムにおいて、自治体からPFIの取組事例を自治体から発表 等

■PFIを導入する場合、施設整備費について国庫補助

従来手法と同様に国庫補助の対象（新增築、改築、大規模改造、耐震補強）

《PFIの実施状況》

■実施方針公表済 38事業（うち、供用開始済24事業）【平成21年4月1日現在】

- ・うち、耐震補強を含む： 3事業（耐震補強に特化： 1事業）
- ・うち、運営業務を含む： 16事業（全体の約4割）
運営業務の例：給食業務、地域開放業務、食堂・売店の運営等
- ・事業期間別事業数： 10年以下・・・1事業、11～15年・・・12事業、16～20年・・・18事業、
21～25年・・・6事業、31～35年・・・1事業

地方公共団体から聞こえる主なメリット

- 地方公共団体の財政支出の縮減、平準化が可能
- 民間事業者のノウハウの活用
- 一度に複数事業を実施することによる
教育環境の迅速な改善

地方公共団体から聞こえる主な課題

- 小中学校等では運営業務の委託範囲が限られ、民間事業者の利益に結びつきにくい
- 規模が大きくなると参加者がいない。小規模自治体では、予算規模が小さいためコスト削減が小さくなる
- 耐震補強事業の場合、そもそもの事業規模が小さく、改築と併せて行う事業などでない限り、VFMが出ない
- 地元の中小企業が潤わない(ノウハウのある大手が受注)
- 事業実施までに長期間を要する。手続きが煩雑
- 契約段階で検討になかった事項への対応。途中の状況変化に柔軟に対応できるか(教育内容の変化などへの対応)
- 運営業務も委託する場合、事前に十分検討しても、設備備品の使い勝手等で不満足な点が多々ある。学校に慣れた事業者でないと、利用者のニーズを満たすことが難しい。



耐震補強事業におけるPFI方式の活用事例

○京都府京都市 京都市立小中学校耐震化PFI事業

事業内容

・耐震補強業務

4校の耐震第二次診断、耐震補強設計、耐震第二次診断及び耐震補強設計に係る第三者機関の判定取得、耐震補強工事及び工事監理

・定期調査等業務(維持管理業務)

法律に基づく建築物・建築設備の定期調査・定期点検(4年間)

【事業期間 約6.5年 平成21年3月30日実施方針の公表】

課題

従来の方で耐震補強を実施した場合

- ・工事の長期化や大規模な仮設校舎の設置等により学校教育活動へ多大な影響が発生する
- ・補強内容が多様かつ大規模であったため、事業費が多額となる

PFI方式の活用(RO方式により実施)

民間事業者の能力やノウハウを活用

- ・既存校舎を使用しながら、学校教育活動等への影響を出来る限り低減しつつ、早期かつ確実に実施
- ・事業期間中の財政負担額について約4%の削減が期待される(VFMが発生)

今後の展望

○京都市の事例から得られること

耐震補強事業のみをバンドリングし、PFI方式を活用した初めての事例



一定の成果ではあるものの...

京都市では、過去に、公立学校施設の整備にPFI方式を活用した事例があり、PFIに関する豊富な知識・経験の蓄積が、事業実現の大きな要素となっている

【京都市の事例等から耐震補強PFIが有効と考えられるケース】

- ・ 多くの学校の耐震化を一括・短期間で実施したい
(耐震診断・第三者機関の判定は事前に取得。但し提案に基づく施工でも可とする)
 - ・ 耐震補強が大規模、高価等のため、民間事業者のノウハウを活用して、より適切な補強方法で耐震化を実施したい、事業規模の大きい学校が複数ある
- ※ 地元業者への配慮も必要(事業規模、SPCの設立を選択可能にする等)

○今後の展望

複数の建物を増改築したり、多くの学校の耐震補強を一括して行うなど、相当な事業規模であり、その他の条件も整って、PFI導入の効果が期待できる事業については、PFIの活用を整備手法の一つとして、地方公共団体で検討しやすくなるよう、国は取組事例を紹介するなどの支援を行う。

国立大学法人等施設について

《これまでにPFIを活用して実施している施設》

■実施方針公表済み 31事業(平成22年4月1日現在) (※全て事業契約締結済)

教育研究施設(実験施設を含む):25事業

宿泊施設(学生宿舎、国際交流施設等):3事業

福利厚生施設:3事業

図書館:1事業、医療施設:1事業、立体駐車場:1事業

(※複数分野の施設整備による重複を含む)

■事業方式

BTO:22事業、BOT:7事業、RO:8事業

(※複数の事業方式による重複を含む)

《これまでの取り組み》

平成12年度 文部科学省におけるPFI事業の取組について検討を開始

平成13年度 国立大学等施設のPFI導入可能性調査に着手

平成15年度 国立大学等施設のPFI事業の実施(初めて14事業実施)

平成16年度 国立大学等の法人化(実施主体は国から国立大学法人等へ)

平成18年度 これまでに実施した事業の評価と今後の推進方策の調査研究

平成20年度 PFI事業に係る各種モニタリング手法の課題と改善方策の調査研究



国立大学法人におけるPFI事業の現状と今後の展望

《PFI事業の現状》

- 文部科学省では、国立大学等施設の重点的・計画的整備を支援するため、その整備手法の一つとしてPFI事業を活用してきたが、これまで行ってきた国費主導によるPFI事業は、現下の厳しい財政状況を勘案すると、後年度における財政の硬直化を招く恐れがある。



《新たな整備手法によるPFI等の事業の促進》

- 現下の厳しい財政状況を勘案すると、国立大学施設整備において、国による施設整備補助金のみならず、新たな整備手法による、教育・研究環境の充実が必要である。
- 今後は、新たな整備手法の一つとして、学生宿舎(留学生含む)、駐車場、福利厚生施設、産学連携施設等、一定の事業収入が得られる独立採算性の高いPFI等の事業を促進する。

事例の紹介①～東京大学 プロジェクト研究推進型PFI事業～

《事業の特徴》

- ・ 「国費」「独立採算」「大学の自助努力」など多様な財源を一体化した新たな整備手法を実施。
- ・ レンタルラボ部分については、競争的研究資金等を対象とした施設使用料を財源とした整備とする。



プロジェクト研究推進型PFI事業のスキーム図

合
築
整
備

〈民間収益施設〉
〈事業者の独立採算による整備〉 BOT方式

〈プロジェクト研究スペース(レンタルラボ)〉
〈事業者の独立採算による整備〉 BOT方式

〈基礎的な教育研究部分〉
〈大学の自助努力による整備〉 BTO方式

〈基礎的な教育研究部分〉
〈国費による整備〉 BTO方式+BOT方式

《事業概要》

- 【事業名】 東京大学
総合研究棟(工学部新3号館)施設整備事業
- 【事業方式】 BTO方式+BOT方式
- 【事業期間】 14年間(2010年度～2023年度)
- 【事業規模】 約26,000㎡
(鉄筋コンクリート造、地下1階、地上9階)
- 【業務範囲】 設計、建設、工事監理、運営、維持管理業務
- 【事業内容】 基礎的な教育研究を推進するスペースと、
全学的なプロジェクトや工学系のプロジェクト研究
を推進するための施設を整備

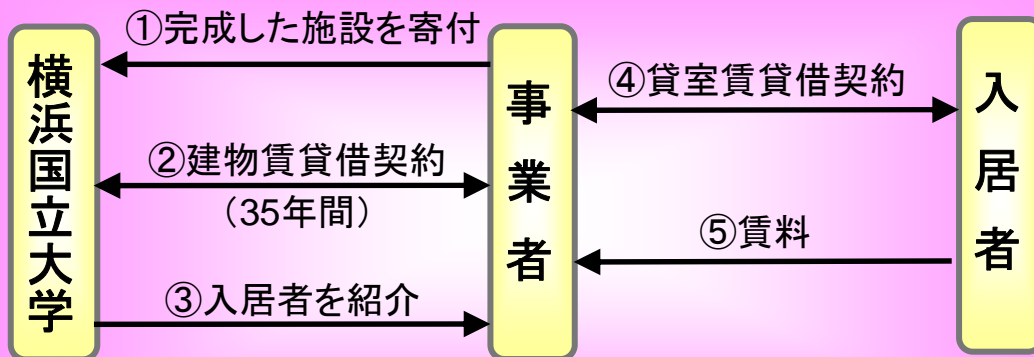
平成22年3月契約締結。供用開始は2012年4月頃を予定。

事例の紹介②～横浜国立大学 民間事業者と連携した宿舎整備～

《事業の特徴》

・ 留学生・外国人研究者等の居住施設(宿舎)の整備・運営に係る費用の全てを事業者が資金調達を行い、入居者からの賃料で建設費等を償還(PPP)

- ①大学の敷地に事業者が施設(建物)を建設し、完成後、②を条件に大学へ施設を寄付(負担付き寄付方式)。
- ②寄付を受けた施設を事業者に貸与し、宿舎として35年間運営。



建設及び35年間の建物維持管理(日常修繕を含む)、運営業務に必要な経費全額を事業者が調達し、実施する。

《事業概要》

- 【施設名】 大岡インターナショナルレジデンス
【事業規模】 約8,500㎡
(鉄筋コンクリート造、地上5階)
【使用開始】 平成22年9月
【部屋構成】 学生用居室(252戸),
研究者・職員用居室(57戸),
洗濯・シャワー室,
多目的スペース,
付帯事業スペース
(コンビニエンスストア)